

## ◎牡丹殿

岩代 服部貞子

晝靜かなる高殿の、  
姫君牡丹見そなはす、  
紅の一片ふくませつ、  
胡蝶の舞に興じます、

朱塗りの欄に寄りまして、  
侍女の五人の口々に、  
織手に輕うみ手拍子、

底本…「女子文壇」明治三十八年第七號

テキスト入力…小林 徹

公開…平成三十年三月三日

[リンク…水野仙子ホームページ](#)